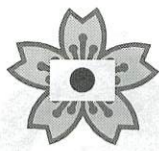


国防は最大の
福祉である

高橋季義



國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)

〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心齋橋大陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 濱野晃吉
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第36号

(秋季号)

平成20年10月1日(水)
(皇紀2668年)
(大正紀元97年)
(昭和紀元83年)

トルコ軍艦「エルトゥールル号」遭難と日本人

関西シンポジウム開催

去る、8月24日「エルおおさか」に於いてトルコ軍艦「エルトゥールル号」事故と日本人と題して、講演及びシンポジウムが開催された。串本町出身で小会の濱野晃吉会長が司会を務めた。要旨を掲載してトルコ国との関係に思いを馳せたい。



開会挨拶する濱野会長

国家の品格は国民の品位によって現われる

ビデオによる映像紹介

開催に先立ち会場ではビデオ映像により事故の紹介があった。

「昭和六十年(一九八五年)のイラン。当時、イランは隣国イラクと戦争中だった。イラクの大統領サダム・フセインは突如イランの首都テヘランを空爆する」と宣言。テヘランに在住する外国人は急遽イラン国外に脱出しなければならなくなった。日本人以外は、そ

れぞれの政府が手配した特別で脱出していった。ところが、日本の航空会社は、危険だという理由で飛行機の派遣を拒否。在イラン日本人はパニック状態に陥った。そんな中、突如二機のトルコ航空機がテヘラン空港に飛来して日本人二五人全員を救援してくれた。

その時、なぜトルコ政府が飛行機を手配してくれたのか、その理由を知るものほとんどいなかった。ト

ルコ政府に問い合わせると「明治二十三年(一九九〇年)九月紀伊半島沖で台風に遭遇し座礁したトルコ軍艦エルトゥールル号(二三四四トンの木造艦)の遭難者は必死に救助してくれた日本人の恩顧に少しでも報いるためです。エルトゥールル号の遭難と日本人の懸命な救助活動については、トルコ国内で知らない人はいません」との回答だった。

明治維新から僅か二十年

とが出来た。この事故によって示された日本人の懸命の救助活動、心からの親切、そして犠牲的精神に感激したトルコは、長く教科書に記載して教育していたのである。両国の友情の礎となったのだ。

皆で声高らかに国家斉唱大ホールを満杯にしたトルコの参加者は、全員で声を張り上げて「君が代」を斉唱。一同感激の面持ちだった。



セルメット アタジャンル大使

駐日トルコ大使の挨拶

無償の精神に学ぶ

藤岡会長の挨拶

「新しい教科書を作る会の藤岡信勝会長は、十

日本とトルコの友情を示す事例として本年六月トルコ大統領が訪日し、串本にも足を運んで、かつて示してくれました日本人の勇気と惻隱の情に感謝を表すことが出来ましたことをご報告したいと思います。

余りの日本の離島で行なわれたトルコ軍人に対する骨身を惜しまない救助活動は百年もの歳月が経過してもトルコ人の心にははっきりと刻まれていたのだ。助けられた乗組員の数は六九名。しかし、事故で死亡した人数は五百人以上だった。

救助された将兵は、神戸に一端移されてから翌年、日本の軍艦によりイスタンブールまで無事帰還するこ

真の保守政権の樹立を願う

八尾市会議員 三宅 博

4面

関防歴史勉強会〈中島サロンの御案内〉

第17回 日時 平成21年2月7日(土)
 講師 中條高德先生
 (元アサヒビール専務・陸士62期)
 演題 未定(新年号で発表します)
 会場 錦城閣
 会費 3000円(含む飲食代)

第16回 日時 12月13日(土)午後4時開催
 講師 稲田朋美衆議院議員
 演題 諸悪の根源・東京裁判を斬る
 会場 錦城閣
 会費 6000円(兼忘年会)
 備考 関西防衛を支える会の運動主旨に御賛同の方は何方でも大歓迎します

第15回 日時 10月4日(土)午後4時開催
 講師 加地伸行阪大名誉教授
 (中国哲学の泰斗)
 演題 沈黙の宗教・儒教
 (出棺のときなぜ生花を入れるのか
 墓石はなぜ建てるのか、乞御期待)
 会場 錦城閣・電話06-6941-2185
 会費 3000円(含む飲食代)
 備考 会員以外の方も大歓迎

「名もなき偉人伝—エルトゥールル号遭難と日本人」

山谷 えり子

参議院議員
前首相補佐官(教育担当)
※パネリストとしても登壇



「日露戦争とトルコ国の物語」

田久保 忠衛

外交評論家
つくる会顧問
※パネリストとしても登壇



第一部 基調講演会

山谷えり子参議院議員

「皆さんこんにちは。教育再生担当の総理補佐官を拝命いたします山谷でございます。」

来週の内閣改造によりまして、前の文部科学大臣である渡海さんにバトンを渡すことになりましたので、今日の講演は、総理補佐官としては最後のものとなるうかと思えます。

今年の春のことでした。トルコの国会議員の方々が官邸内にある私の事務室を訪問されました。この時、このシンポジウムでご覧なられたビデオの英語版を見ていただきました。ビデオをご覧になったトルコ国会議員の皆様は、とても感激されました。

私も、イラン・イラク戦争当時のトルコ航空機による日本人救出につき心より

での二年間、私は、子供たちにごさわしい、年齢に応じた知育、徳育、体育を充実させようと全力をあげてまいりました。

本日のテーマにあります。日本人の諸先輩が行なってきた心に残る話、故郷に残るすばらしい話、あるいは日本の歴史を忘れてはならない偉人達の業績を子供たちに伝える教育にも力を入れてまいりました。

具体的施策として「ゆとり教育」の見直しに取り組みました。「ゆとり教育」はともすると「ゆるみ教育」となり、米

国や英国では小学校の授業時間が年間5000時間

日本人の美質

日本人は、正直、親切、勤勉、敢闘精神、親に孝行といった美しい豊かな価値観を代々つなげてきました。

「この国の民は、自分がこれまで接した諸国民の中で、最も傑出した人々である。彼らは、親しみ易く、善良で、悪意がない。驚くほど名譽心が強く、名譽を重んじる。日本人は、たいがい貧乏である。しかしその貧乏を恥じる素振りを見せない。」

教育の現場では

すなわち、エルトゥールル号事件で見せた紀伊大島の人々の勇氣と善意は、例外的なものではなく、広く

今の日本では、このような美質は失われたのでしょ。耳をささぎたくなくなる野遊びや祭りに連れて行く。女性一人で旅をして

田久保忠衛杏林大教授

「ただいま司会の方から紹介されました田久保です。私は、トルコの専門家

ともロシアの南下政策に よって脅威を受けたという共通の歴史をもっています。小さな東欧の公国に

教育の基本

全国レベルでの学力調査をしますと、福井、秋田、富山、石川などの県が上位を占めます。調べてみますと、特に勉強にだけ力を入

「新学習指導要領」では、小学低学年では、民話、神話を取り入れます。また、武道を奨励して、礼儀作法を学ばせます。相手を尊重し、自らを律することを期待したいですね。

君が代を歌えるように

「新学習指導要領」が作成されて間もない時期、内容を精査しておりますと「君が代を指導する」として教科書の役人は妙に必ず言っただけです。これも、我々日本人が魂深く受け止めるべきではないと思えます。未来永劫に忘れてはならないことなのです。

教育を再生して日本の子供たちが本来の力を取り戻し、諸先輩が徳を高め、平和と道義の国を作った価値観を受け継ぎ、正直、親切、勤勉、チャレンジ精神、親孝行を再認識して行くことを期待したいと思います。」

ともロシアに對抗

日本とトルコといえば、

この点につき、私なりに調べてみますと、十八世紀

冷厳なる国際情勢

日本は日英同盟を結んで

取られてしまふ。そうすれば中国の長江、揚子江、周辺の既得権益が失われる、

と危機感が英国を悩ましていました。

今もそうですが、国際関係がごつかり合う厳しいもの

だからこそ、心から信頼し合えるトルコとの友情が大切なのです。日本の日露戦争勝利を我がことのように喜んでくれたトルコとの関係が今後も維持されることを祈ります。」

第二部 シンポジウム「エルトゥールル号が結んだ友情から学ぶこと」

第一部として「エルトゥールル号が結んだ日本とトルコの友情」というテーマでパネルディスカッションが進められた。コーディネーターは濱野晃吉氏。

(濱野) 先程、田久保先生から、トルコはロシアと戦って連敗だったのお話がありました。しかし、凜とした国であるとも話されました。日本も凜としなければならぬ。一回負けたらもう、謝ってばかりでは駄目だ。日本を再生させなければ、という思いで今回のシンポジウムを開催しました。

本日は、駐日トルコ大使の臨席を賜り本当に嬉しく存じます。

最初に、トルコ記念館やトルコ将兵の慰霊碑が建てられている串本市の前市長・田嶋さんにエルトゥール号にまつわる地元のお話をいただきました。ありがとうございます。

(田嶋) 串本市は紀伊半島の最南端にあり、本州の最南端でもあります。年間の平均気温が十六度ととても住みやすい環境にあります。



横山 久義
福岡県・篠栗町町長



田嶋 勝正
和歌山県・串本町町長



濱野 晃吉 (コーディネーター)
つくる会理事 <敬称略>

今から一八年前にエルトゥールル号が遭難したという話は、紀伊大島に橋がかかると、串本にある無

かるまで地元では余り話題になりませんでした。しかし、平成十八年に「串本大橋」という橋がかかり、串本市民が頻りに大島に行くようになった。そんな中、串本にある無

量寺という所からトルコ将兵を介護した当時の診断書が出てきました。五人分の診断書で、身長、性別、体重、怪我の場所と程度、治療方法、使用した薬の種類などが書かれています。日本政府当局から、「掛か

った費用を請求しない」との要請に対して、「我々はカネ自当で治療したのではない。したがってカネは不要だ。そのカネは、トルコ人に対する義捐金として欲しい」と書いてあります。

「横山」福岡県から来ました。私にエルトゥールル号の件を知ったのは、四年前にテレビ番組を見てからです。あの時の感動は、いまだに忘れません。感動というより衝撃といった方がいいです。

この話を篠栗町の小学校に伝えなければいけないと考えて、当時図書館の館長だった今橋輝子さんという女性に本を作成してもらうようにお願いしました。

今橋さんは和歌山県串本市を訪問して現地を見て資料を集めて「友情」という題の本を作成してくれました。そして「友情」を小学校五年生全員に配布しました。子供たちを通じて保護者の方々にも知って欲しいと思ったのです。

「山谷議員」両町長さんのお話を聞きますと、ご自身が経験をされて体が震えるぐらいの感動を覚え、その感動を形にして他の人々に伝えることの大事さを痛感します。

私は、かつて、昭和二十年代、三十年代の教科書を収集しました。これらの中には素晴らしい感動する話があります。庄屋さんが自分の稲畑に火をつけて地元民を津波から守る、という話などがそうです。

昭和先帝陛下が御崩御になられてから早くも20年の歳月が経過した。大東亜戦争についての先帝陛下のお言葉に次のような至言がある。「先の大戦の遠因は人種問題であり、近因としては石油問題であった」

8年1月に開催されたベルサイユ講和会議に於いて、我が国代表が「人種平等宣言」を行ったことから開始されたと考えられる。当時、フランスに長期滞在中の東久邇宮徳彦殿下(後の終戦直後の首相)に対し、時にフランス首相、クレマンソー

大正13年(1923)5月、米国は今度は「排日移民法」を制定した。一方、支那は、我が国が国際条約で確立していた満州の権益を蹂躪し、在留日本人に危害を加えた。米国は、この日支間の係争に対し、暗に対支支援を積極的に行い、ハ

12月8日、遂に大東亜戦争に突入、日本は緒戦に於いて敢闘して戦果を挙げても、戦線が拡大し物量戦に敗れ、主要都市はことごとく空襲を受けて焼け野原となり、広島、長崎への原爆投下、昭和20年(1945)8月14日、ボツダム宣言を受諾

かったことである。昭和20年10月24日、国際連合が発足、国連憲章において「人種平等宣言」が決議されたのだ。ベルサイユ講和条約から26年、我が国が主張した要望は約四半世紀をもちょうやく達成されたのである。国連加盟国19

いる。我々は、大阪の地に於いて、この聖戦の意義を広く世に知らしめて、自虐史観から脱却せしめ、護国の英霊に対して深甚なる感謝の誠を捧げるため「大東亜戦争顕彰講演会」(会長)

会)を行い、国民精神の作興に寄与せんとするものである。委員 事務局 吉村 伊平 (関西防衛を支える会副会長)

大東亜戦争顕彰 講演会の御案内

を衝いたものと感銘を深くするものである。先の大戦は、日露戦争直後からの米国の「オレンジ計画」による対日敵視政策に始まったものと言っても過言ではない。白人人種の黄色人種の国日本に対する脅威と警戒心が約40年後の大東亜戦争となって顕在化したのである。具体的原因は、大正

1は「日本は米国にもっと警戒しないと、とんでもないことになる」と思言したのである。

大正11年(1921)に米国は、長年続いてきた「日英同盟」を破棄させ、ワシントン会議で「海軍軍縮」と称して戦艦の保有比率を米英5に

ルノートを突き付けて「支那大陸からの無条件全面撤退」を主張したきたのである。そしてハワイ真珠湾に艦隊を終結させて日本を威嚇した。更に、我が国を牽制するため、ABC D(米英支蘭)包圍網を敷いて経済方策を行い、日本を窮地に追い詰めた。

昭和16年(1941)に追いつめた。このように歴史的偉業はかつて人類史上あり得な

0カ国の過半数は有色人種である。日本国民は速やかに自覚しなければならぬ時期に来ている。大東亜戦争の歴史的偉業を顕彰すると共に、失われていた日本の誇りと使命を新たに、占領憲法即時廃棄、国軍の積極的再建、教育の抜本的改革を早急に推し進めるべき時を迎えて

日時 平成20年12月7日(日) 午後1時受付開始・1時30分開場

会場 国民会館・武藤記念ホール

講師 竹田恒泰(ただたつねや)氏

参加費 1000円(宜しく御協力をお願いします)

「支那大陸からの無条件全面撤退」を主張したきたのである。そしてハワイ真珠湾に艦隊を終結させて日本を威嚇した。更に、我が国を牽制するため、ABC D(米英支蘭)包圍網を敷いて経済方策を行い、日本を窮地に追い詰めた。

昭和16年(1941)に追いつめた。このように歴史的偉業はかつて人類史上あり得な

気が自己犠牲の精神ですが、なぜこの人たちの行為に感動するかとはいえ、自分たちにはとても真似できない、到底太刀打ちできないと思うから感動するのでないでしょうか。この時の島民の学歴は多分この会場にいられている皆さんより低かったでしょう。しかし、真心、その心に従う勇氣というものは彼らのほうが数段も上だと思えます。戦後教育は、この「真心」というものに重点を置いてこなかった。知識偏重ではないのか、という思いがします。教師はもっと心を育む教育をすべきです。(山谷議員) 私は、知育、徳育、体育の充実と、それから食育も大事だと考えております。地元の新鮮な食材で滋養のある食事を取ることが健康な体を作り出す。このことをもっと普及させたいと思えます。小学生に農村や漁村に1週間ほど宿泊させて色々な体験をしてみよう活動を進めています。それと「土曜子供ラン」と称して、土曜日の午後地域で行なわれる行事に子供たちを参加させる。そして地域全体が一つの家族のように繋がりを持つ。エルトゥールル号の紙芝居を見てもう一つの思い出でしょう。話は変わりますが、戦争に負けた時、昭和天皇は「道義に生きよ」とおっしゃいました。私たちは道義の国に生きていくのだという自覚が求められると思えます。(濱野) パネラーの皆さん、貴重な意見有難うございました。このへんで終わらせていただきます。

第14回 関防歴史勉強会 中島サロン(8月9日)



八尾市議員
三宅 博

皆さん、今日は。ただ今ご紹介頂きました三宅です。過分なお言葉を頂戴しまして恐縮です。皆さんのご期待に十分お応え出来るかどうか分かりませんが精一杯、思うところをお話しさせて頂きます。

昨日、北京オリンピックの開会式を、驚いたと思えますが私は興味がありませんので開会式を見るべからず酒を飲もうと西村真悟先生(衆議院議員)と岸和田の方で一杯やりました。北京オリンピックが決まったとき大きな条件が一つあったのです。それは国内の人権状況を改善すること。この付

帯条件付きで北京開催が決まったのです。それを解決する、向上させるという条件があったのです。ところがオリンピックが近づけば近づくほど、正反対で国内の人権を無視し、強権的手法によって会場整備とかやっつけで日の開催に漕ぎ着けたのです。

国際会議で語る中朝の人権問題

今年二月に台北で国際会議がありまして、そのテーマは「2008年北京オリンピックと中国の人権問題」という風なものでした。私は招待されてまして講演をしました。世界20ヶ国ぐらい、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドそれからヨーロッパの国々の国會議員、また弁護士、そして人権活動家たち二百数十名ぐらいの参加者の国際会議でした。日本からは安藤さんと言つシャナリストと私の二人でした。

私が話したのは、あの北朝鮮国内の人権迫害から逃れて、中国に入った人達、自由を求め、飢えから逃れて中国に入った人達がどんなに酷い目に遇っているかを話しました。多くのヨーロッパの連中は、北京オリンピックとベルリンオリンピックを対比させて平和の祭典であるべきオリンピックがいかにも国策に利用され、国威発揚に利用され、その後の悲劇的な世界体勢に繋がったかとい

真の保守政権の樹立を願う

(要旨)

鮮総連に寄付させたのです。とんでもない、地上の楽園どころか、この世の地獄が待っていたのです。

僕がいつも朝鮮総連を徹底的に批判し攻撃しているのは、彼らが在日朝鮮人を食い物にしてきた元凶だからです。朝鮮総連は在日朝鮮人の権利、或いは利益を擁護していると言っていますが、とんでもない話です。同和問題でもそうです。部落解放同盟が同和問題を食い物にしていたんです。部落の人達の権利擁護しているなんて言っていますが、実際やってきたのは自分らの仲間を食い物にしてきたのです。

共産中国が臨界点に達する時

中国国内で誘拐ビジネスが猖獗を極めていっていると言いますが、毎年60万から70万の人間が行方不明なるそうです。特に子供たちが誘拐ビジネスの餌食になり、女性の場合は多くが悲惨な境遇に行かされる。ウイグルの若い女性が数十万人強制的に中国の沿海部の方に連行され生産に従事させられる。チベットもそうですウイグルは元々独立した国家であるにもかかわらず強制連行される。中国国旗の五星紅旗、真っ赤な旗の真ん中に星が一つあって、あと点が四つある。あの点が正にウイグルとかチベットと云う国々を象徴しているのです。真ん

つづつな事を話されました。やはりヨーロッパの方は、その思いの方が強かったんですね。

搾取する朝鮮総連

朝鮮総連は昭和34年5年6年では8万人に近い人間を地上の楽園だ、教育も医療もタダで受けられる、と宣伝して多くの在日朝鮮人、或いは彼らと結婚した日本人妻、またその間に出来た日本国籍の子供たちを送り込んだのです。

の中、この北送運動ですよ。北朝鮮に帰られるとき、みんなこっちで財産がありますね、それを売って行って北朝鮮に行つたのです。本来なら現金を持って行きたかったのですが、朝鮮総連は「北朝鮮は地上の楽園だ、学費も医療費もいらない、お金を持って行っても無駄だ」と、小遣い4万円だけは許可すると言って、残りはすべて朝鮮

中華思想と劣等感

ところが国際社会は北朝鮮と中国共産政権に非常に甘い対応しているんですね、あんなでもない独裁政権の中にある大きな星が漢民族なんです。

北朝鮮にアメリカは機嫌をどうとっている。台湾は選挙で選出する民主国家です。この台湾には冷淡極まりない対応しているのが過去の構図ではなかったかと思えます。国際政治に於ける国益の追求はいいのですが、やはり正義なき国益の追求は必ずその国々に大きなツケとなって返ってくるのではなからうか、と思えます。

クスが複雑にしている。それに、より複雑にしているのが中華思想です。

拉致事件の恐怖

北朝鮮の拉致事件ですが、アメリカがテロ支援国家から除外すると議会で諮り、このまま行ったら、それに釣られて日本も経済制裁の緩和をしようとしています。それについて万景峰号の寄港は絶対に許してなりません。連合赤軍の連中なんか返していません。向こうで望郷の念にかられて死んでいったらいいんです。あいつらが帰ってきたら日本の税金で刑務所でまた食わせなければならぬ、とんでもないことです。アメリカはテロ支援国家と云っていますが、これが欺瞞なんです、北朝鮮そのものがテロ国家なんです。

私は特定拉致被害者調査会と言っています、ひっそりたら北朝鮮に拉致されたかも知れないと言つ方たちの調査・救出活動もやっていますが、北は百名以上、ひよっとしたら二百名以上拉致しているかも知れませ

だに向こうの恐怖感があるのです、だから怖くて言えない。曾いさんが北朝鮮から帰ってきて佐渡の歓迎会に出ると、自分を拉致した人間がいたのです。その恐怖感が実際にあるんです。

拉致事件の共犯者・日本政府

石川県の海岸から拉致された久米ひろしさんは、親しい在日朝鮮人からちよつと旅行に行こうと誘われて、石川県の旅館に投宿して海岸に散歩にでたのですが、旅館に帰って来たのは在日の男だけだったんです。旅館の女将はおかしいと感じて警察に通報したら、その男は逮捕されて全て白状したのです。石川県警のお手柄ですが、これを聞いた日本政府は、結局これを釈放してしまったのです。この久米さん拉致の手引きをした「金」と云う朝鮮総連の男は逮捕されずに、今東京で普通の生活をやっている。

これは北朝鮮に非常に大きなシグナルを送ったのです。逮捕して白状したにも拘わらず日本政府は釈放した、見て見ぬふりをしようとした事です。拉致事件は日本政府も共犯者なんです。それに輪をかけて自民党の山崎拓、それから加藤紘一など、この前も帰ってきたら人を一旦北朝鮮に約束だから返すべきだった、と。誰が誘拐犯人のところに人を返す馬鹿がいいますか。中山さんは(正暉元代議士)拉致被害者の会長だったのです、それが北朝鮮に行つて一晩で変わってしまった。見事なもんです。飲ませ、食わせ、抱かせて籠絡する、これが支那・朝鮮の文化なんです。西村真悟を防衛大臣に据えたら支那も朝鮮も震えあがりますよ。拉致問題などは速やかに解決するでしょう。

真の保守政権の樹立を願う

こんな政権はいつか終止符を打たなければなりません。本当の意味で日本の独立、アジアの平和というのはあり得ないです。竹島も尖閣諸島も、いままた対馬が危ないのです、北方領土もそうです。手をこまねいて抗議一つしないのが日本政府ですよ。領土と国民が国家の最も基本的要素です。自民党と言つ政府は、結局、アメリカの占領政策継続の手足となっているのです。結党の精神である自主憲法制定一つやらない、保守合同したとき、その気になれば憲法改正など一晩で出来たのです。

(文責・新川)



私は、若い頃から日本の安全保障はどうあるべきかについて考えている。同時に、日本人は世界に通用する防衛意識というものを形成しているか否か、この疑問を抱きながら人生を歩んで来たように思う。結論から申し上げれば、現在の日本人は、いまだ世界に通用する防衛意識を持っていない。なぜなら、昭和二十年八月十五日の終戦以来六十三年という長い期間が経過したが、「憲法第九条があるから平和でいられるんだ」と信じている日本人は決して少なくない。一方で「憲法第九条は諸悪の根源だ。即刻改正すべきだ」と主張する言論も存在している。日本の平和と安全を維持するためには何が不可欠なのか、国民の間で意見が集約される気配がない。憲法改正を是とする国民が半数を超えているにもかかわらず、政治の世界の動きは鈍く、責任を果たせんとする気概は見えない。

防衛意識の変革を阻むもの

総務部長 山本 賢一

まず第一に、日本は島国で、朝鮮半島が大陸の勢力を食い止めるバッファの役割を果たしてくれたこと。第二に、国防と安全保障といった問題は専門家に任せればよい、という意識が一般国民の間では強いこと。第三に、大東亜戦争において、米英を主力とする連合軍を敵として戦いを挑み大敗北を喫したことから、戦争はもうこりこり、戦争のことを考えることもいやだ、防衛のことを議論することすら味まじいという意識が多くの日本人の中に定着してしまっただけ。第四に、現行の憲法に示されている異常ともいえる平和主義が、本格的な戦争学や安全保障論を阻んでいることである。学問的に安全保障を専門的に研究する大学や研究所は極めて少なく、政治家でも「防衛問題は票にならないから勉強したくない。国民が求めているのは、税金問題であり、社会保障問題や教育問題である。防衛問題は二の次となる」と公言して憚らない。第五に、戦後、サンフランシスコにおいて調印された講和条約と同時に締結された「日米安全保障条約」によって米軍が日本に駐留して日本の安全を守るという機能がうまく働いているため、日本人は安全保障を自らのこととして考えようとしなくなっただけ。

私のオリジナルではなく、保守系の有力な論者である稲田の先輩でもある田久保忠衛先生（現在杏林大学の客員教授）の著書によって指摘されているものである。田久保先生のご指摘を拝読して、「まさにそうだ」と強く得心したため、ここで言及したい。それは、日本国政府内における旧態依然とした防衛意識である。もっと具体的に申せば、中央官庁における官僚の「憲法の条文を遵守するための理屈」という巨大な壁が世界に通用する防衛意識の形成を阻んでいるという事実である。そもそも官僚たちの意識は、「前例尊重」と「責任回避」という二つの要素によって相当部分が占められている。彼らの言い分は「過去の政府答弁や閣議決定、首相答弁から逸脱することは断じて認められない」というものであったり、「過去の防衛論議の積み重ねを壊すような議論は認めない」というものではないだろうか。だから、その内閣法制局の答弁は政府の方針である、という論理が優先されて、国民の代表である国会議員がこの壁を突き崩そうとしても頑強に抵抗するのである。この論理は「集団的自衛権」の「自衛権の一つとして認められるが現行憲法のもとでは行使できない」という頑なな論理に象徴される。

客観情勢の変化によって、時の内閣が「どのような場合に集団的自衛権が行使できるのか」という問題提起をしても、官僚たちはその優秀な頭脳を使おうとしなかった。本来、内閣を支えるはずの官僚機構は、客観情勢の変化に対応するよりも過去の政府答弁によって構築された論理を優先させたのである。自分の国は自分で守る、という当たり前の意識が欠落してしまっただけで、一般国民に「防衛意識を持つてくたさい」と言っても無理なのかもしれない。むしろ、公的な機関で、外交や防衛に従事している官僚たちに対して、「憲法改正も含めて、我国を防衛するためにはいかなる法体系といかなるパワー（ハードパワーとソフトパワー）が必要なのか考えて欲しい」と命令することのほうが先決ではないだろうか。そして、何時いつまでに回答を出せと期限を切ることも重要である。以上のことを、政治家の皆さんに強く訴えたい。

去る9月23日、大阪護国神社に於て、(社)日本郷友連盟大阪府郷友会主催で戦没者及び自衛隊殉職者の慰霊祭が営まれた。



前列左から郷友会・山本会長、平井第36連隊副連隊長・江口大阪地本部長、柳澤宮司、柴田第37連隊長、桑原第3師団長代理



第48周年中部方面隊創立記念

期日 10月19日(日) 午前10時30分開始 (記念式典) お問合せ 072-782-0001 (広報)

かつて、将軍は米国人、授校はドイツ人、下士官・兵は日本人で編成すれば世界最強の軍隊が出来る、と言われていた。第二次世界大戦の後、米軍あたりから出た民族性を比較した言葉である。たしかに戦記、戦史によると戦場の日本軍兵士は非常に優秀で局地戦は良く制している。惜しむらくは戦局大勢を判断するべき将軍・提督の戦略立案に難があった、と日本人としても認めざるを得ない。陸士、海兵、陸大、海大の卒業成績順位が生涯ついてまわり、適材適所を無視したハンモックナンバーが階級を決めて戦いに臨む事になる。そうして我が国は米国のように戦場の現場に併せて臨機応変に指揮官を変えることが出来なかった。

された米軍は、その3週間後、ミッドウェイ海軍少将を2階級進めて大將に進級させて太平洋艦隊司令官に任命した。この米軍の人事異動が我が国の敗北を決定づけた昭和17年6月5日のミッドウェイ海戦の惨敗につながる。このミッドウェイ海戦の日本の指揮官は海兵36期の南雲忠一中将であるが、最も不適任人事と当時から指摘されていた。一例が司令官自ら軍艦の操縦をするなど瑣事に拘ったとされる。対するに海兵40期の山口多聞少将は誰も認める名提督であった。歴史にイイはないが、もし米国のようにハンモックナンバーにとられずに山口少将を指揮官にしておれば、無残なミッドウェイの敗戦はなかった。

の敗戦はなかった、と後世の戦記家は嘆いていられる。また不沈艦「プリンス・オブ・ウェールズ」(レパルス)など擁する英国東洋艦隊を壊滅させ、チャーチル英国首相をして、この戦いは負けるかもしれないと嘆かせた、その軍事部門を統括する防衛省は昨年ようやく

軍隊を持つ 国民の覚悟

を契機に防衛省や自衛隊の不祥事に自衛隊非難が起り防衛省改革が叫ばれているが、政治はその国の民度を映す鏡と云われている。そして政治の延長線にある軍事も同様であろう。その軍事部門を統括する防衛省は昨年ようやく

実があったのではないかと、これは自衛隊将官OBからも聞く話である。防衛大学に入る者は大概に国防に関心を持ち、かつ優秀な人が多く勉強もしているが、過去の防衛官僚は他首庁からの出向者が多く、いわゆる省益優先があっただけではないか。これからプロパーの優秀な防衛官僚を育てて行かなければならぬから防衛省改革には時間がかかるだろう。国益優先の官僚を育て、偏狭な文民統制など捨て、現役武官を国会答弁に招致するよう組織に改変しなければ改革は出来ないだろう。それはひとえに、国民の覚悟と理解を要する。日本人の軍事に対する意識

の改革も必要になろう、国民の覚悟のほどが問われるのである。我が国は明治建軍以来緻密な軍事組織を作り上げて来たが、その組織が制度疲労を惹起し硬直して来て敗北を喫した。その礎に懲りて胸を吹く愚を戦後60年間犯して来た。私共の関西防衛を支える会は、国防を担う自衛隊を「支える」と云う趣旨で運動している。そして国防に対する国民の覚悟を啓蒙するべく、前会長の故高橋季義が唱えた「国防は最大の福祉である」をモットーとして、この結論は憲法改正に行き着く。新川記 (註・これはアイデンティティ紙第33号8月1日発行に掲載されたものです)

戦没者慰霊祭
大阪護国神社(8月15日終戦記念日)



前列左、第37連隊長柴田昭市一等陸佐



空挺同志会 恒例夏の焼肉大会
(大阪鶴見緑地公園8月17日)



陸上自衛隊中部方面音楽隊演奏会(難波ウォークJR難波駅前で9月10日)

『國の支え』35号拝見致してあります。會長のご挨拶始め西村議員の質問主意書(非常に時宜を得た記事)、佐藤將軍や山本部長のご高説も肯綮に当たると少なからず、但し山本総務部長がチャイナと表記されておられるのは如何なるのかと思えます。歴史的に政治的には、支那、現在の政府を指すのであれば共産支那若しくは北京政府等の呼称でよろしいのでは、中華という語を使用することは、東夷という日本に冠された差別語を容認することになります。チャイナという片仮名表記の使用も「支那」封印の片棒を担ぐ

民主党に廟堂の覇権を委ねてよいものか

昭和史研究家 奥村直

批判しておられる。言われるところは正論、しかしながら交替政権を委託すべき当の民主党が、永住外国人地方参政権を始め極めて危険な手つきを見せている。ここで漫然と政権交代と称して廟堂の覇権を委ねてよ

このことになりましょう。今月(夏季号)最大の興味ある記事は黒田實氏の寄稿(非常に時宜を得た記事)、佐藤將軍や山本部長のご高説も肯綮に当たると少なからず、但し山本総務部長がチャイナと表記されておられるのは如何なるのかと思えます。歴史的に政治的には、支那、現在の政府を指すのであれば共産支那若しくは北京政府等の呼称でよろしいのでは、中華という語を使用することは、東夷という日本に冠された差別語を容認することになります。チャイナという片仮名表記の使用も「支那」封印の片棒を担ぐ

我が国に現状執行部のままの民主党政権(当然単独ではなく、かの社民党も一翼を担う筈です)が誕生したら日本はどうなるのか。思

快な選択を迫られることに なりましょう。これは日本 人全てがそうなるというこ とでもありません。 少なからず当面支那朝鮮

で私が申し上げましたこととして、戦後いち早く海軍善玉説を流布させた若波文化軍人高木惣吉氏の虚構がばれてきたことでもあり

件、東京裁判の大きな争点であった。 註3、高木惣吉海軍少将・海兵43期・戦後、海軍という武装集団が和平に動いたから「天皇の聖断」がうまれたと主張

編集 後記

言われた、が結果は御覽の通りだ。昭和4年生まれの池田大作先生が浄土に召されたら、国益を弄ぶ劇薬の薬効は半減するのだろうか。海上自衛隊の給油活動は最低限の国際貢献である、できれば駆逐艦をベル

が死んだら、スターリンが物故したら世界は変わると

この劇薬に買われた福田小先生が辞任表明して自民党の新総裁が決まりこの号が出たころは総選挙が始まっているかも知れない。人命は地球より重たい、のたまひ連合赤軍に6億円の賤別を渡して貴兄らの活躍を祈るとテロを輸出した大先生の息子だ、このような結果は見えていた。それにしてもこのような小先生を担いだ自民党の親分衆は何を考えているのだ。三宅八尾市議が述べたように憲法改正が自民党に課せられた大命題である。

*奥村直先生の本職は画家である。しかし昭和史に詳しく、該博な知識は研究家に相応しい、ここに帝國海軍には好意をもつ先生が高木惣吉海軍少将に手厳しい批判をされている。サイレントネビーと言われるが、この高木惣吉海軍に戦後の我々は誤誘導されていたのではないか。(新)

死んでたまるか!!
田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!
沖縄モズクと北海道産真昆布がニアンの純粋フコイタンをダブルで配合!!
生活習慣病が気になる方に...
Fucoidan Z
【フコイダンZ】150粒(25~50日分) 25,000円
お試し用30粒入り2,000円とお徳用350粒入り50,000円もあります。
Beauty Health Laboratory
ビー・エイチ・ラボ
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

自衛隊広報紙
広告掲載企業募集
中部方面隊広報紙 やましろ
第10師団広報紙 金城
第3師団広報紙 錦城
第13旅団広報紙 みつや
自衛隊「広報室」編集広報紙取扱
株式会社 若鳩
本社
〒570-0032大阪府守口市市野通2-19-1菊水第二ビル
TEL(06)6993-0099
支社
〒530-0028大阪市北区万歳町4-12浪速ビル西館401-B号
TEL(06)6362-0888
FAX(06)6362-3591

「至誠」に生きた人
高橋季義先生追悼文集
(非売品)
ご希望の方は郵便切手300円を同封して弊会にお申し込みください。
残部少々あります。
〒542-0081大阪市中央区南船場3-11-10
心齋橋太陽ビル 関西防衛を支える会

平成20年度 年会費納入のお願い
お振込は下記金融機関でもできます。
三井住友銀行 守口支店
普通 1261314
口座名 関西防衛を支える会
郵便振替口座番号
00960-2-137035
口座名 関西防衛を支える会
《年会費》
一般会員...1口 3,000円
維持会員...1口 10,000円
法人会員...1口 20,000円
※1口以上何口でも申し受けます。銀行振込の場合は、ご住所等を当会までご連絡下さいますようお願いいたします。
※会計年度 4/1~3/31です。